

2022年度
第15回

あおもり産木材活用 建築コンテスト 作品集



新築住宅 部門

最優秀賞 大工舎「桜の家」

優秀賞 (有)大坊建設「斜陽風舎」

優秀賞 (株)Fractal設計事務所「陸奥湾を臨む家」

新築賞 (株)大山建工「愛犬と暮らす高性能な無垢の家」

審査員特別賞 1952HINOKIYA一級建築士事務所&(有)赤穂工務店「高館の家」

非住宅 部門

優秀賞 (株)建築工房零 青森設計室「眠りの森 溝口」

優秀賞 渡部環境設計事務所「並木道のテントブース」

優秀賞 (有)田中工務店「(有)金子ファーム新事務所」

新築住宅部門の最優秀賞は大工舎 新設の非住宅部門は3作品に優秀賞



第15回あおもり産木材活用建築コンテストの表彰式が令和5年1月17日、県庁で開かれた。今年度のコンテストは、住宅だけでなく一般の建築物へも木材の活用が広がるように、従前の住宅部門に加え、住宅以外の建築物を対象とした非住宅部門を新設して、名称も「あおもり産木材活用建築コンテスト」から



表彰状を手に(前列左から)渡部良平代表(渡部環境設計事務所)、福井泰子室長(建築工房零青森設計室)、宮川貴子常務(Fractal設計事務所)、平戸代表、大坊社長、田中専務(後列左から)赤穂直樹社長、佐々木芳光部長(大山建工)

「あおもり産木材活用建築コンテスト」へと変更した。

応募作品『桜の家』で県知事賞(最優秀賞)に輝いた大工舎(階上町)の平戸憲行代表に対し、三村申吾知事が知事賞の県産ナラ製の桶を贈呈した。また、最優秀賞の表彰状を、主催者であるあおもり産木材活用建築コンテスト実行委員会の駒井修一会長が手渡した。

優秀賞は(㈱大坊建設(田子町)と、(株)Fractal設計事務所(青森市)が受賞した。また、青森市の産業会館で開催された大農林水産祭でのコンテスト応募作品パネル展示による一般投票と、Googleフォームによるインターネット投票を合わせて、住んでみたい家として最も得票の多かった作品に授与される「新築賞」は、(株)大山建工(八戸市)が受賞した。審査員特別賞には1952HINO K I Y A一級建築士事務所(八戸市)と(㈱)赤穂工務店(八戸市)が選ばれた。

一方、今年度から新設した非住宅部門では、優勝賞に(株)建築工房零青森設計室(青森市)、(㈱)田中工務店(野辺地町)、渡部環境設計事務所(十和田市)がそれぞれ受賞した。

今回のコンテストには新築住宅



三村知事から県知事賞記念品の県産ナラ製の桶を受け取った平戸代表

部門に9作品、非住宅部門に3作品の応募があった。審査に当たった

県建築士事務所協会会長の加藤彰審査委員長が、「審査委員による応募作品の書類審査を行い、上位3作品について外観および内観の現地審査をし、最優秀賞1作品、優秀賞2作品、審査員特別賞1作品を選定した。また、一般投票とインターネット投票とを合計して新築賞を選定した。非住宅部門の応募作品については三者三様でそれぞれに良い工夫があったことから3作品すべてに優秀賞を授与することとした」と審査経過を報告した。

三村知事はあいさつで、「地元の木を使って家を建てるということは、健康面からも実に理にかなっていると言えます。同じ地域環境で育った木が、その家に住む人に馴染むからです。住宅だけでなく、今回からコンテストに応募部門を

新設した、事務所などの非住宅建築物にもぜひ県産材を使っていただし、地域と木と人が一体となった暮らしの輪が広がってほしい」と抱負を述べた。

最優秀賞に輝いた大工舎の平戸憲行代表は、「当社は今年で創業20周年を迎えます。外国の集成材が盛んに使われていた当時は、地域の無垢材と大工の技にこだわる当社の家づくりは時代に逆行すると言われたものですが、流行に左右されず昔ながらの木と技を継承する家づくりが今になって歓迎されてきています。このスタイルを貫いていきます」と語った。

また優秀賞受賞の大坊建設の大坊社長は、「県産材を生かすのは大工の技術です。簡単に身に付くものではないだけに、今後は時間をさいて若手の育成に取り組みたい」と述べた。

一方、非住宅部門で優秀賞を受賞した田中工務店の田中貴司専務は、「事務所の建物だけでなく、テーブル等の家具も県産の無垢材で作りたい、というのが今回の施主様でした。そうした県産材にこだわる需要層に向けて、要望を形にしていきたいです」と抱負を述べた。

最後に駒井会長が、「建築コンテストも皆様に支えられて今回で15回目を迎えました。これからも『地域』『人の暮らし』をつなぐ『県産材』をアピールするコンテストを継続していきます」と締め括った。

最優秀賞
作品

桜の家



樺の大黒柱や赤松の太鼓梁、無垢材の床などで構築された木の空間

大口径の松梁や大黒柱と対峙するとき、大工は覚悟を持たないと材料の大きさに呑まれてしまいます。自然に対しての畏怖の念を忘れないことで、木材の命を活かしてゆく建物になると信じています。樺の大黒柱、赤松の大鼓梁、

無垢材の床・天井板、栗の土台とウッドデッキ……。ご夫婦は伝統的な建て方の住宅が希望で私どもに依頼されました。基礎工事の前年に敷地の真ん中にあつた桜を玄関前に移植しました。その桜が今年も花をつけました。



力強い梁が交差するリビングの開放的な吹抜け

講評

この作品は、施主さまの希望に沿うように昔ながらの建築技法を活かし、県産材をふんだんに取り入れた、明るく暖かな住宅となっています。ケヤキの大黒柱、クリのウッドデッキ、アカマツの太鼓梁など、多様な県産材を林業事業体から直接仕入れることで、コストを抑えて多くの県産材を積極的に利

用する工夫をしているほか、新ストープや木質系の断熱材を使用していることも、環境への配慮が感じられます。

「木材の中に暮らす」という観点からも心地よい空間となっており、木づかいのPRが期待できる点が評価され、最優秀賞に選出されました。

(加藤委員長)



- 建築場所 / 八戸市小田
- 県産材使用量 / 38.47㎡
- 県産材使用率 / 97.04%

- 施工者(応募者) / 大工舎
住所 / 三戸郡階上町大字道仏字泉田窪21-2
TEL.0178-87-3547
- 設計者 / 平戸憲行
住所 / 三戸郡階上町大字道仏字泉田窪21-2
TEL.0178-87-3547
- 木材調達先 / 川口製材所
TEL.0194-65-4981

優秀賞
作品

斜陽風舎



帰り着いてほっとするような玄関。格子越しに明かりがこぼれる



青森スギを使用した格子が印象的なリビングの天井

講評

この作品は、地元
の気候風土になじむ
県産スギを使用し、パッシブ
デザインの家づくりを基本
としたコンパクトな住宅と
なっています。

手刻みとプレカットを適
切に組み合わせて広い天井

や縁側等への木材の使い方が
意匠的であったほか、最新
の冷暖房設備を県内で初め
て導入しており、新しい手法
を取り入れた工夫等が評価
され、優秀賞に選出されま
した。

(加藤委員長)

自然エネルギー
を取り入れる「パッ
シブデザイン」の
家づくりが基本と
なっており、夏の
強い陽射しを遮り
ながら、冬の暖か
な陽だまりをつく
る設計です。家の
中の風の通り道の
工夫もされています。

土台と大引き
以外の構造材に杉
を使用していま
す。耐久性があり、
地元の気候に適し
たものを使うこ
とで丈夫で心地
よい住宅を目指し
ました。

(詳細62ページ)



- 建築場所／三戸郡南部町
- 県産材使用量／34.76㎡
- 県産材使用率／88.90%

- 施工者(応募者)／(有)大坊建設
住所／三戸郡田子町大字田子字下田子69-4
TEL.0179-32-3580
- 設計者／(有)設計アトリエ
住所／中野区大和町1-67-6 MT COURT 606
TEL.03-3310-4156
- 木材調達先／(有)大坊建設
TEL.0179-32-3580

優秀賞
作品

陸奥湾を臨む家



二方向の大開口から陸奥湾が望める開放的なリビング

講評

この作品は、シンプルながらも挑戦的なデザインで、内外装に上手く木を取り入れ、まとめている住宅です。

県産のスギを、内装及び躯体としてだけでなく、耐久性の高い心材を外壁材として使用しており、こだわりが感じられます。また、地元で植樹し、育った木を使って家づくりをする企業意識も評価され、優秀賞に選出されました。

(加藤委員長)



陸奥湾が一望できるリビングへ誘う階段

県産スギとガルバリウム鋼板の印象的なファサード(建物の正面)。外壁として採用したスギ材はメンテナンスが無いように芯材のみを使用。玄関へ入ると洗いだしのコンクリートから大谷石仕上げとした。床は床暖房のため帰宅した

瞬間から暖かい。二方向へ広がる大胆な大開口からは陸奥湾。余生をゆったりと過ごす終の棲家。畑仕事をする農具を収納した小屋も景観を損なわないように同じ素材で建築した。



- 建築場所 / 青森市六枚橋
- 県産材使用量 / 7.91 m³
- 県産材使用率 / 33.86%

- 設計者(応募者) / 株式会社Fractal設計事務所
住所 / 青森市緑2丁目16-21
TEL.017-777-5884

- 施工者 / 株式会社セントラルホーム
住所 / 青森市緑2丁目16-21
TEL.017-721-3560

- 木材調達先 / 福土木材(株)
TEL.017-741-6438

新築賞
作品

愛犬と暮らす 高性能な無垢の家

お施主様は11年前に当社にてご自宅を新築されています。今回は老後のためのセカンドハウスとして平屋を建てたいとお話をいただきました。現在お住まいのご自宅と同様に県産材をふんだんに使用して建てられました。

リビングには、当社が丸太から買い付け自社工場加工した長い梁材を多用しています。和室を仕切るケヤキの大黒柱は金物を使わない梁組を施しています。あえてその梁組を見せることで意匠性もあり、大工の技術を感じていただけるようにしました。

講評

この作品は、梁のアカマツやケヤキの大黒柱、収納棚等の建具等、県産材をふんだんに使用しています。

「良質な県産材をたくさん使い、理解ある施主と良いものを作る」という役割は、林業の活性化や職人の技術継承のためにも大切なことといえます。

一般投票においては、「愛犬と老後の生活に優しい家」、「木の温もりを感じられる」という声が多く寄せられ、新築賞に選出されました。
(加藤委員長)



金具を使用しない梁組が大工の技術の高さをうかがわせる

- 建築場所／七戸町
- 県産材使用量／41.35㎡
- 県産材使用率／100%

- 施工者(応募者)／株式会社大山建工
住所／八戸市大字河原木字千刈田7-1
TEL.0178-21-3055
- 設計者／株式会社大山建工
住所／八戸市大字河原木字千刈田7-1
TEL.0178-21-3055
- 木材調達先／三八地方森林組合
TEL.0179-22-2615



審査員特別賞
作品

高館の家

構造材やフローリング、家具、建具、階段、外壁に「青森ひば」や「青森スギ」など、青森県産の木材をふんだんに使用しています。玄関ドアやキッチン、造作家具に至るまで「青森ひば」など地元の木を使用した地元の職人による製作です。

2階にリビング・ダイニング・キッチン・子ども部屋を配置することで、明るさや眺望、プライバシーを確保。また天井一杯まで設けた建具や窓の位置を変え、家中隅々まで明るく心地よい空間になりました。

コンパクトでも敷地の良さを活かして、家族の使い勝手に合わせたデザインになりました。

講評

この作品は、床や外壁、建具等、要所に青森ヒバやスギを使用しているほか、2階を主な生活スペースとして配置し、コンパクトにまとめた住宅となっています。

周辺が住宅街であることからプライバシーの確保にも気を遣っており、面積や建築費等の点からも、今後若いご家族の住まう家としてスタンダードな形になっていくであろう点が評価され、審査員特別賞に選出されました。
(加藤委員長)



造作家具にも青森ヒバを使用

- 建築場所／八戸市河原木
- 県産材使用量／12.13㎡
- 県産材使用率／55.28%

- 設計者(応募者)／1952HINOKIYA一級建築士事務所
住所／八戸市柏崎三丁目8-13
TEL.0178-43-3848
- 施工者／(有)赤穂工務店
住所／八戸市石手洗字油久保6-10
TEL.0178-96-5510
- 木材調達先／上北森林組合
TEL.0176-69-1200



優秀賞
作品

眠りの森 溝口



「眠り」を通して「健康」を提案するセレクトショップ



■建築場所／弘前市 ■県産材使用量／0.04㎡
■県産材使用率／0.70%

■設計者(応募者)／(株)建築工房零 青森設計室
住所／青森市栄町2-4-2 1階 TEL.017-718-1320
■施工者／(株)建築工房零
住所／仙台市泉区南青山4-3-16 TEL.022-725-2261

講評

この作品は、高層マンションの一角を改修した寝具店です。

「眠りを通して健康になってほしい」という施主さまの想いに寄り添い、床や収納棚、イス等には、いろいろなスギを使用し、お客様がくつろげるよう配慮されています。
(加藤委員長)

10階建ての鉄骨鉄筋コンクリート造のマンションの1階部分の改修工事です。「青森県の皆様を元気にしたい」というオーナーの想いから始まったこの事業は、「眠り」を通して「健康」を提案するセレクトショップです。お客様が触れる床材に柔らかな杉材を使用し、杉の温もり・香り・木目など五感でリラックスできる空間となっています。

優秀賞
作品

並木道の テントブース



組み立てが簡単で持ち運びにも便利のように工夫されている



■建築場所／十和田市 ■県産材使用量／1.00㎡
 ■県産材使用率／100%

■設計者(応募者)／渡部環境設計事務所
 住所／十和田市東一番町3番22号 TEL.090-4521-7674
 ■施工者／(有)直町建設
 住所／十和田市西十三番町45-16 TEL.0176-23-5339
 ■木材調達先／平野商事(株) TEL.0176-23-7111

講評

この作品は、屋外イベント等で使用するテナントブースです。持ち運びのできる建築物にも木材を積極的に活用していく試みは、木材利用の普及だけでなく、街づくりの観点からも重要なものとなっています。
 (加藤委員長)

十和田市現代美術館に來館された方を街なかまで誘導することを目的に、10基の仮設ブースを設置する設計プロジェクトです。
 青森県産材の杉を骨組みに用いたブースは、地域に根差した製作体験や飲食・特産品販売などの機能を持たせ、十和田のまちをより深く知って頂くきっかけに繋がる目的で運営しています。



住宅並みに「木」を贅沢に使った造り

優秀賞作品

(有)金子ファーム 新事務所

講評

この作品は、県産材を適材適所で使用した木造のオフィスです。
 木が大好きな施主さまの希望を見事に叶えるとともに、店舗や事務所等への木材利用の機運が高まっている昨今の風潮にもマッチした事務所となっています。
 (加藤委員長)

事業所として使用する建物です。
 土台は4寸、根太は3・5寸の3尺桝組で青森ヒバを使用しました。間柱は1・5寸のスギを使用しています。1尺2寸の梁、4寸の桁を主体に内部吹抜けを現しにして組みました。積雪のある地域であることから屋根垂木に4寸のスギを使用しました。



■建築場所／七戸町 ■県産材使用量／91.06㎡
 ■県産材使用率／100%

■施工者(応募者)／(有)田中工務店
 住所／上北郡野辺地町字寺ノ沢48 TEL.0175-64-2445
 ■設計者／(同)アイディア二級建築士事務所
 住所／三沢市春日台二丁目152-414 TEL.0176-52-5480
 ■木材調達先／笹山木材(株) TEL.0173-62-2840

新築住宅部門「応募

作品 光と風を採りこむ家



■建築場所／青森市桜川
 ■県産材使用量／36.73㎡ ■県産材使用率／43.24%
 ■設計者(応募者)／(株)建築工房零 青森設計室
 住所／青森市栄町2-4-2 1階 TEL.017-718-1320
 ■施工者／(株)建築工房零
 住所／仙台市泉区南中山4-3-16 TEL.022-725-2261

外観は東西面はガルバリウム鋼板、南北面とメインアプローチは杉板押縁張りとし、白・黒・グレーの無彩色ながら木目を生かした落ち着きある雰囲気としました。

1階居室と2階寝室の天井は板張り。2階リビングの天井はヒバ板張り。杉材の梁の架構を現わしに、抑えた階高ながらも空間の広がりを感じられるよう設計しました。柱は県産の杉とヒバ材、梁は杉材を使用。断熱は外壁を付加断熱とすることで家全体の断熱性能をUPさせています。躯体及び化粧材、木製建具としての杉材の活用、他、造作家具にも杉巾はぎ板を使用し、木の香りに包まれた住まいとなっています。

作品 縦格子のある家

無垢の木と、漆喰、和紙など自然素材を多用しています。

小高い立地を活かし、眺めの良い場所にリビングを配置しました。格子を通して洩れる明かりがリズムカクルで楽しさがあります。

大きな窓から外に出て、人目を気にせずパーベキューや読書などを楽しむスペースを設けているので、外出するより家で楽しむ時間が増えそうです。

建具には津軽伝統工芸のこぎん刺しをあしらひ、照明には西目屋のブナコランプを採用。広々としたリビングにはホタテ貝粉入りの漆喰を塗り、空気も心も洗われるようです。



■建築場所／弘前市
 ■県産材使用量／15.20㎡ ■県産材使用率／41.53%
 ■施工者(応募者)／企業組合県木住
 住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2 TEL.0172-55-7793
 ■設計者／企業組合県木住
 住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2 TEL.0172-55-7793

作品 日除けのある家



■建築場所／青森市浪岡
 ■県産材使用量／22.90㎡ ■県産材使用率／75.08%
 ■施工者(応募者)／企業組合県木住
 住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2 TEL.0172-55-7793
 ■設計者／企業組合県木住
 住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2 TEL.0172-55-7793

建物の西側が道路に面しているため、西日対策として日除け戸を設けました。冬は戸袋に仕舞い込みます。

無垢材と漆喰、和紙など自然素材と、水回りに貼ったタイルは再生ビニール樹脂系の素材を使ったSDGs(持続可能な開発目標)を支援しているものを採用しています。

薪ストーブを中心とした間取りで、玄関の引き戸を開けると開放感が得られるよう階段下を活用しています。

土台はヒバ、柱はスギ、梁はアカマツとすべて青森県産材。表札をかけたある外壁の帯状のスギ板張り部分は、再塗装のメンテナンスをしやすいう高さにしています。

作品 木の家で健やかに

土台は青森ヒバ、柱は12センチ角のスギを使い丈夫な骨組みとなっています。

玄関の扉を開けると、木の香りが漂ってきます。上がり框はケヤキの厚板、ホールへ進むと厚さ3センチのスギの無垢材のフローリングの足ざわりが優しく、心地良いです。リビングの床と天井、中木、廻り縁、窓枠のスギの色合いと、和室の柱のヒノキの美しさが目に飛び込んできます。

この家に住んでから、小児喘息のお子様は症状が軽くなり、木の色合いや香りに包まれてよく眠れるとお施主妻からお言葉を頂きました。



■建築場所／十和田市
 ■県産材使用量／16.00㎡ ■県産材使用率／40.00%
 ■施工者(応募者)／(有)岩木建設
 住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1 TEL.0176-27-2906
 ■設計者／いわ木の家 設計事務所
 住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1 TEL.0176-27-2906